



2021-22 年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ

Weekly Report Niigata



2021~22 年度
新潟ロータリークラブ会長

石橋 正利



新潟 RC 9 月第 3 例会 (2021.9.21) (Zoom 例会併催) No.3382

(1) ロータリーソング「我等の生業」ピアノ演奏

(2) 石橋 正利会長挨拶

まずは、佐賀・長崎豪雨災害への支援のお願いです。国際ロータリー第 2740 地区 塚崎ガバナーより、「7 月の熱海豪雨災害に引き続き、会員おひとりあたり 1,000 円を目安として災害義捐金のご協力を賜りたくお願い申し上げます。」と協力依頼がまいりました。宜しくお願い致します。

それと、私たちは、普段、ロータリー財団への寄付をしておりますが、テーマ別にホームページから個別に、例えば、今月のテーマ「教育の支援」を選んで寄付することができます。やったことのある方いらっしゃいますか？ いらっしゃらないようですね。宜しかったら、こちらも、ご活用下さい。

では、「ロータリアンとしての基本的教育」として、今日は、新潟県の企業として、初めて日本経営品質賞を受賞された上越市にある「日鉄工材(株)」さんを取り上げることに致します。「日鉄工材(株)」さんを知っておられる方いらっしゃいますか？ いらっしゃらないようですね。まずは、映像をご覧ください。

成り行きまかせで座礁した難破船と評した赤字会社が、経常利益が 5 倍近くまで優良企業に改革できた原点が、社員を主人公にした「社員の幸せ実現を起点にした価値創造」でした。やらされ意識で働いていた社員の皆さんが、ロータリーの目的にある「役立つ仕事はすべて価値あるもの」と認識できるようになり、自ら主体的に顧客への価値提供を実現しようと、仕事に喜びを感じながら、顧客に高品質・高機能な製品を加工・提供できる会社に生まれ変わったのです。改善提案実績数が、6.5 倍になり、新製品売上金額が 3 倍にまで上がりました。

我々、ロータリアンも、「日鉄工材(株)」さんのような企業を事例として取り上げ、日々の職場の中で、「役立つ仕事はすべて価値あるもの」と認識できるよう、実践してまいりましょう。

(3) 退会ご挨拶・バナー贈呈

・キリンビール(株)新潟支社支社長 内田正彦君

(4) 委員会報告

・石本隆太郎会員増強委員長より会員意識調査集計結果について報告(3 ページ目にコメント記載)

・井東 昌樹 RA 委員長より 9 月 12 日に開催された「アクトの日」参加報告(参加者 石橋会長、内山幹事、井東 RA 委員長)

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(佐藤 紳一副委員長)

佐藤 紳一君 田村貫次郎君

青少年育成基金寄付発表(小飯田 澄雄委員長)

本間 疆君

(6) ニコニコボックス紹介(東 善明委員)

・内田 正彦君 2 年半ニコニコさせていただき、ありがとうございました。コロナあけたらキリンビールを飲みニコニコして下さい。

・河西弘太郎君 9 月コンペでは名誉ある優勝を戴きありがとうございました。初の優勝で油断しておりました。当日はメンバーと天候と隠しボールに恵まれた結果です。務台さん宮島さんありがとうございました。2 回目がある事を祈って頑張ります。初優勝にニコニコします。

・石橋 正利君 久しぶりに奥胎内や弥彦山奥宮へ行ってきました。家内と一緒に。家内が喜んでくれたのでニコニコします。

(7) 幹事報告 (内山 博之)

感染症拡大防止の為に、10月12日に予定されております高尾ガバナー公式訪問はオンラインで実施することを9月7日の理事会で決定致しました。

例年開催しておりました公式訪問後の「クラブ協議会」は開催致しません。

(8) 9月21日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
87	84	61	72.62

Zoom参加者 18名

(9) 会員スピーチ

「健康経営」のすすめ ～職業奉仕の基盤として～

第一建設工業㈱代表取締役社長 内田海基夫君

ガバナー事務局経由で佐賀・長崎豪雨災害への支援依頼があった(会員お一人1,000円を目安としてご協力の御願い)

例会時、会長より募金の御願いがあり、例会御出席者より、40,000円のご協力があった。

本日現在の会員数×1,000円=87,000円

をガバナー事務局経由で寄付、差額はクラブ負担。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

新潟 RC 会員意識調査結果・会員増強委員会としてのコメント

2021～22年度 会員増強委員会

アンケート回収率

◎ 石本隆太郎 ○ 小木 将綱 小林 悟

- 1・2021年8月24日現在における新潟 RC 会員数は82名(県内企業会員59名、県外企業会員23名)であるが、今回の会員意識アンケート調査の回収率は、73%超の高回収率となり、皆様のご協力に感謝いたします。

設問1・会員企業の所在地と、設問2・会員の年齢構成

- 1・当クラブの会員構成は、地元企業会員が約70%、県外企業会員が約30%となっており、県外企業会員は、中央大手企業等の幹部社員としてのスキルも高く、平均年齢も比較的若いいため、当クラブにとっては大きな戦力となっている。

設問1・会員企業の所在地と、設問3・RC の在籍年数

- 1・その反面、県外企業会員は入会3年未満で転勤による退会が避けられない会員が多く、在籍年数が短いため、クラブ会長や幹事、委員長等の役職に就くことが困難で、その結果、ロータリーの5大奉仕等に関する知識・経験が不十分となり、地元企業会員との間で、会員意識等の面で二極化現象が起きやすい。
- 2・二極化現象による会員間のギャップを埋めるには、ロータリー情報委員会による新入会員教育の徹底、夜例会担当の親睦委員会、海岸清掃等担当の社会奉仕委員会、職場訪問等担当の職業奉仕委員会等の委員会活動を活発にするとともに、野球同好会、ゴルフ同好会、料理同好会、鴨料理を食べる会等を通じ、地元会員との交流・親睦を深める努力が必要である。
- 3・さらに、ロータリーにとって最も重要である例会が、コロナ禍により教室スタイルとなって、会食時の会話を楽しむ機会を奪われているが、コロナ終息後はテーブル着席順に留意する等、例会が楽しい会員交流の場とならなければならない。
- 4・さらに又、最近はインフォーマル・ミーティング(旧ファイアースайд・ミーティング)の開催が少ないように感じているが、コロナ終息後は、委員会単位での親睦を兼ねた勉強会は、会員同士の親睦を深める上でも重要である。

設問4・RC における満足度

- 1・RC における満足度については、地元会員、県外企業会員ともに、イの大変満足している。ロのある程度満足しているという会員が8割以上を占めており、会員増強に対して、全会員が自信をもって取り組むべきである。

設問5・あなたにとって、RC の価値は何ですか

- 1・複数回答の為、地元会員と県外企業会員との間に大きな相違はないが、どちらのグループも、イの異業種交流を通じて、自己研鑽と、学習・成長の機会となるが最多数。2番目に、地元会員は、ホの例会における卓話等、参考になることが多いを選択したのに対し、県外企業会員は、ニの人脈が広がることにより事業機会が広がるを選択した会員が多く、その他の意見としても、地元企業経営者との交流や良好な人脈形成ができることに価値を見出している点に注目したい。

設問6・新潟クラブの親睦活動の満足度

- 1・どちらのグループも夜例会や同好会活動に対する満足度は高い結果が出たが、地元会員で、夜例会の回数や会費等に対して見直しが必要とする意見がかなりあり、今後、親睦委員会を中心に、検討する必要があるであろう。

設問7・新潟クラブの社会奉仕活動の満足度

設問8・新潟クラブの青少年奉仕活動の満足度

- 1・地元企業会員、県外企業会員ともに、当クラブの社会奉仕活動、青少年奉仕活動は適当で満足しているという意見が大多数であるが、現実には、昨年以来のコロナ禍の中で、ほとんどの奉仕活動が縮小あるいは中止という状況である。
- 2・コロナ終息が何時になるか現時点では全く不透明であるが、新潟クラブとしてこれまで継続してきた各種奉仕活動の火

を消さないためにも、各担当委員会は、コロナ後を見据えた委員会活動の在り方等について、検討を始めるべきである。

設問 9・ 新潟クラブの R 財団、米山奨学会の寄付

1・両グループとも R 財団、米山奨学会へのバックアップは適正で満足しているという意見が大多数であるが、寄付の現状は必ずしも十分でないという意見も散見される。当クラブの会員が R 財団、米山奨学会に対する理解を深め、進んで寄付していただけるよう、各委員会の活動実績等について、例会卓話等で分かり易く説明する等、一段の努力が必要である。

設問 10・ 地区および新潟クラブの現状について

* RLI=ロータリーリーダーシップ研究会

設問 11・ 地区内会員数順で、新潟南クラブ、新発田クラブに次いで、第3位という現状について

1・8月24日の第4例会での短時間の説明であったが、ほとんどの会員が、十分理解できた。ある程度理解できた。と回答。

来年は、当クラブの高橋秀樹ガバナー年度でもあり、量・質ともに充実した会員増強への取り組みを強化したい。

2・友好クラブの前橋クラブには会員数でも大差を付けられており、前橋クラブは会員に対する*RLIによる研修会実施や、

会員夫人を交えた混声合唱団、永年出席会員表彰は夫人を表彰する等、会員の家族ぐるみの親睦に力を入れている。

設問 12・ 入会勧誘について

1・どちらのグループも、ロの回答が大多数であり、具体的に会員増強への働きかけをどうするか、委員会で検討する予定。